

第 43 回情報交流会の会 実施報告書（HP）

開催日時	2020年12月05日(土) 13:30-17:00
名称・主催	第43回 情報交流会の会 ・ (公社)日本技術士会 神奈川県支部
開催場所	Web開催 (リアル会場のないリモート開催)
行事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全参加者がリモート (在宅) で情報交流会を開催。少人数ブレイクアウトルーム機能を用いた交流会により、会員間の絆を紡ぐ試みを行った。[3部] ・[1部]支部から、支部長挨拶、活動・活動計画に関する報告、[2部]会員による CPD 講演 3件、[3部]リモート交流会、新入会員から一言挨拶、少人数歓談。
参加人数	参加者 36名 (正 34, 準 2 視聴者(含む主催者) 33, 講師 3)

概要

<第43回情報交流会の会> (司会：磯村委員)

- ・ **支部長挨拶**：コロナ禍が収まらない中での会議・CPD 講座等行事について三密を避けて実施をお願いしたい。寺井会長の「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応方針」についての説明があった。
- ・ **支部活動報告・活動予定のお知らせ**
 - >松田総務委員長：今年の賀詞交歓会は中止、ハイブリッドで新年特別講演会 (1/26) のみ開催する。
 - ・ 令和3年技術士一次・二次試験日程、2021年技術士全国大会(70周年)の説明があった。
 - >藤井技術士活性化委員長：
 - ・ 12/19 (土) 技術士開業及び業務開拓のための研修会を開催する。詳細は支部 HP を参照。
 - >嶋田 CPD 委員会委員長：
 - ・ 新年特別講演会開催についてチラシ (講師、講演内容) の説明があった。
 - >太田社会委員会委員長：(防災支援小委員会と科学技術小委員会)
 - ・ 防災支援小委員会および科学技術小委員会の紹介と活動報告があった。
 - ・ **会員による CPD 講演**
 - >(1) **辻倉 正一氏** (経営工学) | 「企業内研修における新型コロナウイルス対応について」
技術開発に携わった後、約2万人 (海外も含めて) の組織グローバル企業 帝人の研修計画に関わっている。参加数や方法・場所など年間計画を立案。コロナ対策のリモート研修で配慮が必要な、ポイントについて詳しい説明があった。
 - >(2) **湯口 康弘氏** (機械、総合技術監理) | 「原子力事業におけるロボット技術の活用」
原子力に関心があり東芝に入社した。国際的な原子力開発へ参画・技術援助や福島原発の廃炉計画にも携わった。これらの経験を活かした原子力分野における「ロボットの活用」や課題や研究など、貴重な機材や仕組みの詳しい説明があった。
 - >(3) **立岩 健二氏** (原子力・放射線) | 「『アンチ・フラジャイル』なエネルギー基盤の創出」
「～不確実性が大きいほど強靱になるシステム～」
大学院で原子力専攻、東電入社後福島第二原発、原子力技術部を経て、MBA 取得、原子力技術・品質安全部、国際部を歴任。2011 から国際原子力関係者と信頼関係を築き、事故に関する正確な事実と教訓を209回のべ1万人に直接発信。技術士を足場にアンチ・フラジャイルなエネルギー基盤を構築したい。
 - ・ **リモート交流会** 新入会員の紹介、ブレイクアウトルームによる懇談・情報交流
懇談のテーマを決めておくこと、より少人数で複数回の実施するなどの意見があった。



辻倉正一会員
(経営工学)



湯口康弘会員
(機械・総監)



立岩健二会員
(原子力・放射線)